

令和6年度 檜原村村民対話集会

日 時：令和7年2月5日 19時30分～21時00分

場 所：南郷コミュニティーセンター

村側出席者：村長、副村長、教育長、議会事務局長、ほか職員4名

参 加 者：14名

《意見交換》

■出野沢林道についてなんですかね、奥の方で倒木などもね、あったりしたときには結構迅速にご対応いただいたみたいで、どうもありがとうございます。

出野沢の地区については、土砂災害の危険区域になっているところもあります。結構危険も多いので、村の方でも気をとめていただけたら、ありがとうございます。

今、私の方で要望というかさせていただきたいのは、出野沢林道で結構石が10センチとか多い時には20センチぐらいの大きな石が結構、林道に落ちている時がある。私もその都度拾って片付けているんですけども。5センチくらいの石だと車が踏んで粉々に砕けてとか、結構やっぱり落石は危険を伴うものもありますので、あぶないので、具体的にどう防止すればいいかなかなか難しいとこではあるかと思うんですけども。

例えば、林道の上のほうに柵をつけていただくとかですね、そんな感じでご対応いただけたらと思います。

あと、出野沢林道、うちがあるせいもあるんですが、けっこう郵便屋さんとか、宅急便、宅配便屋さん、もちろん住んでいる者とか、あと観光の方とか、あと釣りの方も時々見えた。色々結構通るんですね意外と。できたら村の方でも気に留めていただきまして、住んでいる人以外でも通る人も多いので、何か対策を考えていただけたら、お願いしたいです。

落石に加えて木が林道を覆うようにして伸びているものもあったりしますので、そういうしたものも。枝が落ちている時には私も片付けているんですけどもね。

そういうこともあるということで、その伸びた木もどうするか、檜原村にはたくさんあるでしょうから、難しいことではあると思うんですけど。一応こういうこともあるので、要望というか、村の方に伝えてよろしくお願いいたします。

→【村長】

出野沢林道についてはですね、奥がだいぶ、すごく荒れてるということで、ここで整備をさせていただいております。

そして、石が落ちるということですので、担当のほうにですね、1回、見て、どうだっていうのをちょっとさせますので、そして、上のほうから大きな石が崩れるような場合にはですね、止めるような、防止の柵でもつけなきゃいけないと思います。

その辺も見させて、対応させていただきます。

そして木が伸びるのはですね、ちょっと、本来は、切ればいいでしょうけど、なかなか、所有者もいますので、それについては、倒れた木は切らせていただくことで、積極的に切らしていただければ村の方で対応させていただきますので、その辺でご理解いただきたいと思います。

【司会者】

はい、ありがとうございました。ほかにございますでしょうか。

■下元郷から五日市に向かっていくとこの沿道の整備ですけど、木を切っていただいてすごくきれいになって、今度また笹平から笹野の間、いせみのとこなんんですけど、あそこも切っていただいて、すごく明るくなって、見晴らしも良くなっています。そして今、本宿から碎石まで、あそこも切ってもらってきてきれいになって、とりあえず今シーズンですね凍結なんかもするので、そこに渡って、そういう凍結防止にもなると思うので、交通の安全にもすごくいいんじゃないかなと思っています。

そこでですね、そこで終わりじゃなくて、まだ、これからも計画があると思うんですが、また、前回のときかな、そんな話をした時に、都道なんで東京都と話し合いをしなくてはいけないとか、お話をあったと思うんですが、今回このような形でやっていただいてすごくよくなっているので、引き続き碎石のあたりも杉の木があつたりして、やっぱりあの辺も雪が降ったりすると凍つてくるんで、引き続いてお願ひしたいと思います。

それとあとですね、まだ下の川と道路の間はいいんですけど、上の方、道路の上側。あの辺も電線に木が生い茂ったりしてて、色々危ないところもあるんで、その辺のところも今後ぜひ検討していただいて進めていただきたい。よろしくお願ひいたします。

→【村長】

ありがとうございます。私になってからですね、観光客だとか、住んでる人、含め、整備すれば気持ちもいいし、川が見えてということで、あきる野の境から上流のところも整備したり、今言ったように碎石のところも整備させていただきます。

そしてあとは下元郷のところ、あの辺も今やっています。

そして実はですね、碎石の上流側のところなんかも、担当に切ってほしいと調べておいてくれと。前に、確かね、外国に行ってしまった方が、所有しているということで連絡がつかないと聞いたことがあるんですけど、その辺も含めて、外国に行ってるのならどこに行っているのかわかれれば、連絡を取って、通称山の神のちょっと危ないところがあるので、そこも近いうちに切る話はしております。

そして、道路の山側ですね、これについて、話があって、山側も川と同じような形でね、切った方がいいんじゃないかなという助言をいただいたて、これについては予算は計上しました。

できたら、交渉して応じていただければ、山側も 10 メーターぐらいの幅、上流側、伸びても 10 メーターだとかかるかもしれないけど、その辺も整備をしていくということで。まだ、公表はしてませんけども、どこでというのはちょっと分からぬけど。2 月号の今日発行の、それに載ってますけども、金額は載ってませんけども、予算的なものはですね、沿道修景含め、4700 万、予算計上をしてありますので、できましたら、協力していただければ伐採はいたします。

そして、私言われてるのが、南ばかりやっていて北はぜんぜん進まないじゃないかと言われてますので、苦しいところなんですけども、用地交渉をして、早急にできれば、北も南もなくなりますよということで、言ってますので、そんな形でやらせていただきますので、ご協力よろしくお願いします。

■ありがとうございます。ぜひですね、観光客もいっぱい来ると思うのですね、川とか見えているとよくなりますので、是非お願いいたします。

【司会者】

よろしいですか。はい、ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。

■一点目、要望なんんですけど、住民のがん検診を無料で行っていただいているが、その中の胃がん検診、バリウムを飲む検診なんですけれど、結構私、私以外もいるんではないかと思うんですけど、身体の体調がちょっとね不調になる人もいるんではないかと思うので。

私はがん検診の時、バリウムはやめて、個人で内視鏡で検査をやっているが、その村で全額とは言わないが補助していただければ、診療所でその検診ができれば、非常にありがたいなと思っているところです。

それからですね、もう一点、要望提案なんですけども、今 2027 年ですかね、蛍光灯、管球が生産中止になるということで、かなり問題になってるかなあと、ニュースなんかでも取上げられたりしてるんですけども。自治会館ですね、蛍光管なんかを村主導で LED 化、できればね、非常に助かるなっていいますか、ありがたいなと思ってるんですけども。今東京都でもゼロエミッションっていう取組やら補助金とか、使えるんじゃないかなと思ってるんですけども、それが自治会館に当たるかわからないけれども、それをちょっとね、考えていただければと。先々、遠い将来ではなく近い将来の問題になるんだと、思ってますので、検討していただければと思います。

あと最後、柏木野のバス停のとこですね、あそこに登山口が、連行峰に行く登山口、生藤山、三国山に登る、登山口ですね。割と今、登山ブームで下山してきて、そこの待合所に待っている人が結構見受けられるんですよね。バスの待ち時間もね、タイミングによっては 1 時間も待つような時もあったりするんだろうなと思うんで。私も登山するんで降りてきたらね、なんか飲みたいなとか、食べたいなっていったところですが、柏木野は自動販売機も

そばにないようなところなので。ただ、ちょっと考えると、一つ先の宮の沢という停留所のところに、やまぶき屋ですか、おみやげもあるので、そこを使えますよと、近くにありますよという案内看板、柏木野のバス停の待合所の中に案内看板を出してあげれば、下山してきた人、それから、やまぶきや、観光協会になると思いますが、両方ともワイン、ワインでね、食べたいもの、飲みたいものが手に入る。かたや売り上げが伸びて相乗効果が出るんではないかなと思って、その辺の看板に掲示をしていただいたらどうかなと思っているところです。以上です。

■バリウムがダメな方は、内視鏡の検査を受けるときは、村の検査ではないので、全額自己負担となってしまう。それを含めて補助を出せないかということなので。

→ 【副村長】

診療所では検査はできるけど、補助の構築を考えればということ。内部で検討させていただいて、飲めないというところを前提に、一応バリウムをやってもらうこと、体質的に合わないとか、そういう人を救うための制度として考えられないか、検討して。

→ 【村長】

そういう人もいるから。バリウムが苦しくて、次の日3日くらい調子が悪い、それは、伺って検討してみます。

それで、LED化につきましては、自治会館、製造中止、製造はもうしないということだと思うので、それが欲しい時に買えなくなる。機具自体も取り替えないと使えないと思うで。その辺まだ3年くらいあるので、その辺も含めて自治会館の補修だとかそういう制度もありますから、そんなので会館自体で対応していただけたらどうかなと思っているので、またその辺の今即答できないので、補助金ですぐやりますということを言えないんですけども、自治会館ですから村が補修に関しては面倒見たいと思っています。

そして後は、柏木野のバス停の関係。これについて、一昨日、これについては、同じことをお話ししたので、担当の方にもすぐ指示をして、案内板をつけて、宮の沢に直売所があるから、休むところもあるし、トイレもありますからということで、案内板をつけるように指示をさせていただきました。

【司会】

よろしいですかね。ほかの方。

■先程、私も碎石のとこを切ってとても明るくなつてありがたいと思っています。ありがとうございます。これからもどんどん切っていただければと思います。

それと、私考えているんですけど、能登半島の地震でインフラの復旧が一番遅かったのが

水道だと思うんですね。ここら辺でも同じようなことがおこるのではないかというふうに考えています。その時に水道じゃなくて、うちの周りには井戸がいくつもあるんですよ。昔使っていた井戸なんですけど、そのままの状態でなってます。それをうまく利用、災害の時とか利用できればなということで。ただ、穴が開いているだけなので、電気でなく動く手動ポンプでもいいんで、そういうのをつけてもらうとか、いうことはできて、使うのは地元の人だけだと思うので、案内板もいらないと思うんですけど、そういうのもあればいいかなと思います。整備してもらいたい理由がもう一つあって、今ただ穴が開いているだけなので、ちっちゃい子供とかそばに来ておっこっちゃって、わからないで中にいるということも絶対ないとは言えないので、上をコンクリートでふさいで、そこにポンプをつけるみたいな整備をしてもらって、対応していただければ、安全面と災害の時と両面でいいかなと思いまして話をしました。

うちのすぐそばに一個あって、うちの隣の空き地、小泉製材が使っているとこにも一個ある。同じような状態であるので、あちこちにあると思うので、整備していただければなと。

→ 【村長】

提案ありがとうございます。水道に関しては、檜原村でも耐震に備えて、布設を数馬から南のほうやっているんですけど、そこのスピードを倍にするということで、早く耐震化をやろうということで、今進めています。

そして、それとはまた別の井戸の関係だと思うんですけど、確かにそういうような形で、災害に対応できれば、本当にいいことで、これについては、今提案をいただきましたので、行政でやらなければいけないので、どのくらい費用がかかるのかを含めて、担当が、水道の担当がいるんで、その辺もちょっと今後の防災の担当も兼ねていると思うので、水道だけでなく、その辺も含めて、そしていざ災害が起きてそれで汲んだ時に本当に飲めるのかという形のものもひょっとしたら出てくるかもしれない、沸かして飲めば全然問題ないでしようけど。その辺も含めて、検討させていただきたいと思います。

【司会者】

よろしいですか。はいでは。

■私はですね、提案がございまして、防犯カメラ、実は10年くらい前に取り付けたんですが、その防犯カメラが大変老朽化しまして、今のところちょっと落ち着いてますけど、闇バイトだとか、檜原はけっこう高齢者が多いじゃないですか、非常に狙われやすいんですけど、うちが一戸一戸近いのと、あまりお金がないからなのか、そのことで防犯カメラとか砂利ですかね、砂利をまいとくと音がするような、そういうものをね、ぜひ、防犯カメラの補助をですね、音が出る砂利のそういうものを検討していただければ非常にありがたい。以上です。

→ 【村長】

実はですね、五日市の防犯協会からも、そういうような要望もあります。補助金を出せば、普及するし、いいねということで。八王子市は既にそういうような補助金が出てます。村でもその辺については、検討して来年の予算の中には組み込みました。ですから、補助が4月以降。金額は防犯カメラまでは、全ては補助できないけど、インターホンとかだったら、そのくらいの金額、今2万円を考えてます。2万円で、50基ほど付けられるような形で、反響が良ければ補正で増やしていきますけれども、本格的な録画ができるちゃんとしたカメラではないんですけど、そんなことを考えていますので、是非それを使っていただきたいと思います。

→ 【村長】

砂利については、ちょっと。音がして、誰か来たなどわかるような形なので、それについてはちょっと検討させていただいて。

■自治会のことについて、聞きたいのですけれども。

今、我々がだいぶ高齢者になってきて、今まで自治会長は60歳から70歳前で、皆さんできてたのですけれど、今若者がいないのでそのまま高齢者になった自治体が多くなっちゃって、自治会長やる人が70歳になっちゃって、今後いろんな面で自治会運営が大変、各自治会とも自治会運営が厳しい、役員の選考が難しくなっちゃうじゃないかと思うので、これから先役場の方は、このままいくと80過ぎの人が自治会長をやるようになっちゃうんじゃないかなと心配する。役場の方はこの問題をどう考えているのか、意見があつたらちょっとお聞きしたい。今後の課題とどんなふうに考えているのか、わかっていることがあればお聞きしたい。

→ 【村長】

実は、自治会の中で年齢だとか制限だとか、一切してないです。そして、自治会に入ってない人も結構増えている。そして、世帯が少なくなったということで、人里の事を言わせてもらうと、2つの自治会が1つになつたらどうかとか、そんな意見も出てます。やる人がいなくて。藤倉の方では、3つの自治会が1つになって、そしてその中でも配布するときには代表者を決めておいてもらって、そこにやるような形で、その代わりに自治会長は藤倉に1つ、そんな形のやり方をしてもらっているところもあります。その現状に合わせて役員の選考が非常に大変だというところが出てきておりますので、その実情に合わせてやっていたけたらなと思います。上川乗なんかでは一人の人が3回やらないとまわっていかないとか、そんなところもあります。自治会によって大変なところが発生しているというのは承知していますので、自治会の中でやつていただけたらなと思っています。

■いや、そういう課題として、割り振りとか、3自治会が1つになるとか、あるんだろうと思うけど、その割り振りとかいうのを役場の方で検討してそういうの、自治会で総会して決めるの？

→【村長】

それを役場の方で、こことここを合併してやってくれと、それは言えないので、自治会同士で話し合っていただいて、そろそろ合併どうですかということで話し合っていただいたほうがいいと思います。強制的に行政が合併しろということは言えないと思うので、ぜひそんな形で進めていただいたらなと思います。

■結局人がいない場所は85歳になって自治会長をやるような形になっちゃうんでしょうかね。自分が歩くのもやつとこで、自治会長ときても。

■今回の自治会長さんの仕事の簡素化というか、ちょっと共済なんかね、今回、今まで自治会長が集めて、自治会で役場の方に持つて行ったんですけど、今回、個人で入りたい人は個人で役場の方へ行ってくれということで、かなりそういう簡素化も考えてもらって、やってもらいたいですけどね。

これから高齢になって、人は少なくなるし、そういう中でも自治会長というのは、かなり負担になると思いますので、よろしくお願ひします。

→【村長】

ありがとうございました。本当にですね、自治会長をやる人が少なくなってしまったんですね。うちの方を言わせてもらうと、次に誰がやるか順番を決めてしまって、そのとおりにやってもらうということで、仕事が忙しいとかそういうのもあるんですけど実情はね。それはみんなが認められる中ではいいと思うんですけど。本当に困っている状況が来ておりますので、よく話し合っていただいて。そして今、自治会の仕事も簡素化して、いろんな形で、手がかかるないように村でも考えておりますので、昔やってたからということですっとやるというのではなくて、ちょっと共済なんかも今年からは、広報の中に入れさせてもらっていますので、はさんで、その中でまとめないで役場の方に、入りたい人は来て申請をしてもらう。そんな形に変えましたので、よろしくお願ひします。

【司会者】

はい、ありがとうございます。他にござりますでしょうか。

■さっきの防犯カメラの事なんですが、各家庭では皆さんつけてらっしゃる方もいらっしゃると思うんですが、村道の、民家の入口あたりに村として防犯カメラを設置するような形みたいにはできないんでしょうか。この頃、色々な人が出入りしてて、どこの人かわからぬような人が行き来しているので、ちょっとそんなところもしていただけたらいいかなと思ったんですけども。

→【村長】

今のような要望がですね、防犯協会とか警察からの依頼で都道のどういうところにつけられとか、つけてほしいという依頼があるんです。それを今度管理したりしなければならないということで、今のところは村ではお断りしているような形です。公共施設については全て村の中でつけておりますので、ただ、コミセンとかそういうところもつければいいんですけど、今のところはつけてない状況です。皆さんからつけてほしいという依頼があればつけるような形に方向には行くと思うんですけど。今のところ、やはり誰かが管理しなくてはいけないですし、警察から来たらそのデーターを出さなきゃいけないし、いろんなことが発生しますので、今のところはつける考えはございませんのでよろしくお願ひします。

■今の関連で、今その品物を電気で何10日間というのが、1万円以下で売っている。だから、役所で1件づつ買っても1万円以下だから、たぶん付けられると思う。調べてもらえばわかる。データーも全部残っていて、通るだけで、通った時だけ作動して切れるというのが売っていると思うので、テレビでだいぶ宣伝してるんで。

→【副村長】

さっき防犯カメラの補助というところがあったんですけども、その部分で家庭についていただく人はつけていただきと、いうところで考えています。それは、限度額があるんで、例えば1万円くらいのものをつければそれで収まりますし、ちょっと超えちゃう、パソコンで見えるようにするとかになるときっと高くなっちゃうんですけども、限度額を決めてつけられる家庭はつけていただきたいということで、まずやっていきたいなと思ってます。あと、公共施設についてもいます。そういうのを使いながら、あと、都道にも何カ所かつけてます。そういうのを見ながら、先程村長が言いましたとおり、管理に結構かかるので、本当に必要なところを。例えばごみを捨てられると困るような林道の入口とか、そういうところの声が大きくなってくれば、そういうところについていくような形で、様子を見ながら、考えていきたいなというのが実情です。言葉がうまく無くて申し訳ないですが、そういう形で考えているのですが、中々かかるので、進めにくいというところは理解いただければと。家庭の方から。

■ちょっと関連で、防犯カメラではないんですが、都道なんかについてるライブカメラなんですかね。そういうもののって檜原の街道には設置されているものなんですかね。

→【副村長】

都道のライブカメラとして見えるのは、東京都の建設局のほうで運用していたんで、十里木あと上川乗の甲武トンネルの下あたりにあったんですけど、今改修してて多分見れなくなっていると思うんです。また、それが開放して見せていただけるようになれば、そこで静止画、15分に1回くらいだと思ってたんですけど、そういう形では、積雪の状況だとか、込み具合とか、そういうのはわかるようには今までなってたんです。ここ1年くらい止まっています。また、見れるようになれば、ホームページで見ていただけるのかなと。あと、今こちらからお願ひしているのは、北の方にないので、北部の方とかにもつけてくださいよとお願ひはします。そんな形です。よろしいですか。

【司会者】

はい、ありがとうございます。他にございますでしょうか。

■こういう対話集会が行われるというのが、とてもいいことだなと思っています。

それで、それがどう活かされているのかっていうことはホームページで拝見できるということなので、私達もホームページをまだよく見てないので、これから拝見しようと思っています。

先日ある議員さんが、自治基本条例というのを提案して、それは住民と議会と行政が独自に作るための条例ということで、それを提案したんですが村の方で住民の負担の増加が見込まれるので、今はちょっとできないという回答だったと思います。

メリットがどんなもので、リスクが何かということをちょっと教えていただけないでしょうか。

→【副村長】

自治基本条例につきましては、それを設定することによって、村の手続の関係だとか、透明性とかが図れるという形があると思うんですけど。そういう中では、他のところを色々見ていきますと、村民の方にどういう役割を持ってもらうとか、議会がどういう役割を持ってとか、それと村がどういう役割を持つか、役割分担を持ちながら、そういうことを進めていかなければいけないよということで、形としてはいい形なんんですけど、そこに持っていくまでにそれぞれの役割分担と持っていく方向をそこをうなっていかないとできないし、作ればそれで終わりというものではないので、そういうところで時間もかかるし、もっと熟成した形になってからなのかな。あと、他のところをもっと見ながらというので、積極的ではな

いという答弁になっているかなと思います。よろしいですか。

■それで、対話集会で出た意見というのが、採用されているのだから、それでもいいんではないかという理解でもいいですか。

→【副村長】

そこまでは言い切れないですけれども、自治基本条例が無くとも、ある程度、こういう、あと村民の全体会議、そして団体の意見を聞く場とか、あと、今年あたりから村長と個人に会える場とかも作ってますので、そういう部分で、それが自治基本条例に変わるものかというと、そうでもないと思うんですが、村政の方へのご意見要望とかを聞きながら良くしていく。とりあえずはできるのかなという形の考え方の答弁をしていると思います。研究をしながらというところで、お時間をいただいてという形かなと思っています。

■この場で意見として出したかったのは、先程の話とも関わるのですが、人口が減っているのに役職が変わらない。もう何といってもいろんな役がある。先程話をしましたけど。

こういう言い方していいかどうか、同じような方が役を持っていてそこからも抜けられないというので、役職は減らして整理していっていただきたいと思った。ですから、条例ができたために役が増えるようであればそれは私も。宜しくお願ひ致します。

→【村長】

自治基本条例は議員の方から一般質問で出たんですね。それで、いろんなことを検討して、近隣の町村では作っているところが少ない。そんなことで、ちょっと様子を見させていただきますということでやらしていただいているります。

役職が増えるかという形ですけども、色んな形で一つにまとめて、1人の人がやってくれればいいんですけど、そういうわけにもいかないので、ある程度やっていただけたらなと思っています。

いただいた意見については、今日も録音をさせていただいて、きっちと記録をとって、どういう形の対応をしたかというのをきっちとしますので、その辺も承知しておいていただきたい。

■もう一つ、私達ここで健康体操というのをやっています。それで、おばさんたちが集まって、井戸端会議的にいろんなことが出るんですけど。そのひとつなんですが、コミュニティーセンターができて30年以上が経っていると思いますが。今この椅子が片付けてあった物置ですね、その備品、段ボールに入ったまま30年間そのままである。そういう物の管理というかは、コミュニティーセンターにある備品の管理というのはどこがやるべきなんでしょうかね、自治会でやるべきなのか、村でやるべきか聞きたい。

→ 【村長】

基本的には自治会でお願いしたい。というのは、管理委員会とかいうのを作っているところがある。そこが管理をしていただいて、備品が欲しいとか、ここが壊れているから直してほしいとか、そういうとこから村の方にきて、誰か管理する人がいるんじやないですか。

→ 【副村長】

その備品とは、いらない様な備品になってるということ。

■段ボールに入ってる。今、テーブルとか一回も開けてない。段ボールのまま、30 年間ある。

→ 【副村長】

置いておいて、邪魔であれば引き上げちゃうんですけども。もし、新品で

■使わないのならもったいないと思って。考えていただいて、使っていただけるとこに持つて行って活用してもらった方が。

→ 【副村長】

ここで使っているのと入れ替えて、これを引き上げるということもあるのかもしれないですし、この中のコミセンを使っている方たちの方で相談していただいて、邪魔というかもったいなくて、他に持つて行っていいですということであれば、連絡していただけて引き上げるし。

■活用したほうがいいんじゃないですか。

→ 【副村長】

なので、こちらの方で決めていただければ。うちの方からは、一応必要だということで置いてもらってるんで、たまたま足りてるけど、なんかの時には必要で置いているのかもしれないし。当初の時には必要ですと言われたのかもしれないし。今の利用方法に合わない数になっていれば、引き上げるのも全然、その辺委員長さんから。中にはね、古くなったから買い替えてくれはよく聞くけど、こういう話は初めてなので、ちょっと参考にしていただきながら。何なりと相談していただければ引き上げるのもできますし、気軽にお話を企画財政課の方になりますので、よろしくお願ひいたします。

→ 【村長】

そういうのを管理する人というのは、決めてないんですか。

■開発委員会で管理している。

→【副村長】

他だと椅子が古くなったとか、テーブルが使いにくいから、畳の部屋なんかでは、高いテーブルにして椅子で座られるように、テーブルを取替えてくれとかはあったんで、そういう話のが多かったです。

→【村長】

コミセンの整備は、南郷が一番最後だったから、そういう点では備品とかそういうのは一番状況がいいんじゃないかな。

→【副村長】

いらなければ他で有効に使わせていただいて。

■それと、関連してなんんですけど、この机がとても重いんですよね。私達すごい年を取っているので、大変なので軽いのに替えていただくというのは。

→【村長】

できましたら、代表者の人が企画財政課の方に相談してもらえば。こういうのはいらないとか、軽いのが欲しいとか。

■そういう手順がわかるんだったら私たちが要望して持っていくようにします。それをどこに持つていいかもわからんかったんで。

→【副村長】

形としては、全体の中でオーケーが出て、それでということにしていただきたいと思います。個人的というか、一部のところでなっちゃうと後々あるので。コミセン使っている全体、例えば開発委員会なのかコミセンの管理委員会なのか、あると思うので、そこでまとまった話として持ってきていただければ可能かなと。

■前々から話が出てたんですけど、駐車場のギター工場。あそこをですね、住民説明会だとか、何年もかけてやってるんですけど、いまだに手がついてない様な気もするんですけど。進捗状況、どうなっているか教えていただきたいと思います。

→【村長】

多分その問題が出るかなと思って。南郷の跡地を企業誘致で進めていまして、地元の説明

会を開催して了解をいただいたということで、企業誘致の委員会でも優良企業ということで認定をして、今会社では建物の設計をしているということで、その設計が今年の秋ごろに終わるということで、順次建設にかかっていく、そんな感じでやっているということで、今日確認してきました。よろしくお願ひいたします。

■ちょっといいですか。

このグラウンドは、役場で管理してるんですか。グラウンドの広場で、伐採して材木をやってここ10年くらいずっと使えない状態なんだけど。

■管理は共益会なんだけど。

■共益会でやってんの。あんまり、この前も半分くらいところへ重機を置いといたから、おどかしたから、こんなあれじやだめだよと言ったら、スポーツで地域の人が使うんだよと言ったら引っ込めただけ。

→【村長】

基本的には、財産は村のものなんですよ。だけど、管理は地元で管理をして下さいということで話をしてるんです。いろんな形でみんなに寄付をしていただいて、グラウンドだとかそういうのを作っているので、村の勝手に使うということは良くないなということで、地元のきちんとした形で貸したり、色々なを作ったりとか、それが基本ですので、そんな形でお願いしたい。

■管理は地元でということでしたけども、いつだったか下にね、災害時とかの非常食がここにコミセンにあったんですけど、見たら賞味期限がもう古いんじゃないの、食べられないわというようなものがあったんですけど、村の方はそういう管理も、そういう非常食の管理も地元でするんですか。もうちょっと早めにわかってたらみんなに配っちゃうとかできたのに、これじや、くれても、もらってもと思ったんですけど。そういうのも下に色々置いてあるんですけど。

■役場で承知しているよな。私も自治会長になって最初開けて調べたんですよ。切れているやつがあって。そうしたら、

→【村長】

基本的には、自治会ごとに備蓄庫を整備してありますから、そこの中に入れる分は人口に合わせて、3日分ということで、賞味期限もいつかというのも、全部把握して配布してます。ここにあったものが、賞味期限が切れているというのは、おそらく、避難所として持ってき

て、それがそのままになっているのでは。基本的にはここには備蓄はしていないと。そういうのがあったら片付けなくちゃ。

→ 【副村長】

今村長が言われたように、備蓄庫に入っているものは管理できている。ここって、避難してもらうようなときに、持ってきてそのまま置いてきちゃったのが残っていて、気がつかないでいて申し訳なかったです。なので、係のほうに話をして、全体を回らして、ダメなものは引き上げるような格好で考えます。もし、気がついたらご連絡いただければ、対応させていただきます。ちょっと本当に申し訳ないです、気がつかないで。すいません。

【村長】

それではですね、最初ちょっとお話すればよかったです、どなたか質問すると思って、言わなかつたんですけど、実は、トイレの関係で村内のトイレを調査、全部しました。そして、トイレを建設する場所だとか、そういうふうなものもやらさせていただいて、この辺だと柏木野から、自治会から柏木野地区にトイレを作つてほしい、そういう要望もいただきました。そんなことも踏まえて、できましたら柏木野地区にトイレを建設する予定です。そして、南郷地区にはらの店というのがあるんですけど、そこの横の土地があるんですけど、そこを村の方で購入することができましたので、これからですね、まだ設計をしたり整地をしたりして、やらなければいけないんですけど、そこに住宅、村営住宅を作る計画させていただきますので、地元でもぜひご協力をお願いしたいと思います。

【司会者】

今、村長から説明がありましたけど、そのことに対して何かご質問があれば。よろしいですかね。

【村長】

できましたらね、土地についても村の方で積極的に購入させていただいて、ぜひ、住宅を作つて、人口が本当にもう 1,922 人になってしまったということで。1 年間の人口減少が最近本当に減少が早まつてるので、その辺を危惧しています。高齢者比率が 53%、二人に一人がもう 65 歳以上の方ですので。できましたらね、皆さんのお息子さんたちを呼んでいただきたい。子供も孫も含めて。そうすればいいんですけど。とにかく 65 歳から下の人達、本当に少なくてですね。今年は、昨年の 4 月から子供は何人くらい生まれたと思います。もうすぐ 1 年になるんですけど、1 年間に何人、実は 4 人です。本当にですね、4 人とか 5 人とか。

■噂なんんですけど、出畠の漬物工場の横の土地かな、あそこ、噂なんんですけど、なんか住宅が建つんじゃないかなと。

→【村長】

今ちょっと言ったのが、そのことなんです。780 m²あるんで2反部くらい土地がありますので、そこに住宅がどのくらい建つかどうかというのを、これから設計しなければいけないのですが、ちょっと傾斜地なんで、どのくらい建つかというのをやっていかなければいけない。これから、2、3年はかかると思いますけど。

■高齢化がだいぶ進んでいますので、是非、あそこに若い人がね来ていただければありがたいなと思っているんですけど。

■いいですかね。

こうやって見て、役場も一般企業ではないんですけど、一つの組織ですよね。去年からといってはおかしいけれど、フジテレビの件と、ガバナンスとコンプライアンスですか、それを一步間違えるとあれだけに非難されるということで、役場としても、例えば若い人の教育、どのような感じでやっているのか。コンプライアンスなんか、どう指導、教育しているのか、ちょっとその辺聞かせていただきたいんですが。

→【村長】

実はですね、役場の職員の実情をお話しさせていただくと、職員が62名ほどいるんですけど、その中でも退職者がすごく増えてきたということで。そして、何が不満で辞めるかというのは、その辺がね、それぞれの思いで辞めて、他のどこに行きたいとか、今勤務をしたりとか、そんな形で辞める人がいて、それに伴って職員も採用したりさせていただいているんですけど。その中でも、個人のですね色々な思いを村でも受け止めなければいけないということで、色々な調査をしたりして皆さん、三役がこの人どういう考え方があるかとか、色々なことをきっちと調べなければいけないということやらせていただいて。そして、公務員ですからコンプライアンスについては、非常に気を使わなければいけないし、その辺については、研修ですかですね、そういうふうなところでは、きっちとした形で研修に行ってもらったり、それから、係でもですね、上司が中心になって、職員の育成ということで、それについては口を酸っぱくして指導はしておりますので、それでも中々いろんな形で問題が発生するかもしれないけれども、気をつけてやっておりますので、何かありましたらご指導をお願いしたいと思います。